

の場合が十分保障されていないと、常時活動は活発にならない。

そこで、全員で話し合い、日課表の中に次のような活動の場を位置づけた。

ア 毎週火曜日の放課後の時間を「係活動の時間」とし、計画を立てたり、活動内容を整理したりするとともに、必要に応じて、全体での発表会などを行うようにした。

イ 毎週金曜日の放課後に「係班長会」を設け、係の代表者が活動の様子や係からの願いなどを中心に話し合い、係の横のつながりを図るようにした。

ウ 朝の会・帰りの会に、「係より」「係へ」の場を位置づけ、全体への広がりと同時に、係への意識を常にもてるようにした。

② 係の活動計画の見直し

係のめあてと活動内容を明確にし、各自の仕事の内容をはっきりさせるために、〈表2〉のような活動計画を立てるようにした。

〈表2〉

飼 育 係			
係 員	引地 教雄	関根 久	班長 記録の順序
	田中 拓郎	藤田 賢樹	班長の のりお→田中→室原
	室原 幸典	三浦 登	武田→関根→藤田
	武田 良洋		三浦
めあて	・金魚や花などを長く育てよう。		
活 動	活動内容	分担	活動時間
	1. 金魚のえさくみ	全員	朝の放課後
	2. 水そうあらい	三浦	月2回 放課後
	3. 花びんの水とりかえ	三浦	毎月
計 画	4. コンクールの企画を立てる。 (1) コンクール用紙をわたす。 (2) 用紙を貰い、しんさする。 (3) はつ発表会(ポスターなども……)	全員	放課後 4月10日 発表会 月2回 作組
	5. 生き物の紹介 ・園かんがで調べたもの ポスターみんなにおしる	全員	月1回 放課後
画	6. アンケート	田中 藤田 武田 教雄	月1回 相談会 放課後
準備物	画用紙、ペン(太細)、サインペン、セロハンテープ、のり、かぎ針、色えんぴつ、カラーコピー、印刷用紙、花びん、水そう、金魚のえさ、花、さし紙、本(植物図)、えさをつぶす物、えんぴつ		

次に、長期の見通しをもった係活動ができるようにするために、〈表3〉のような月ごとの計画を立てるようにした。

〈表3〉

9月の活動計画 飼育係							
日	曜日	活動内容	反省	日	曜日	活動内容	反省
1	日			17	火	コンクール用紙のしめ切り	
2	月	生き物の紹介 調べたもの	◎	18	水	コンクールのしんさ	
3	火	ポスター作り 花の水とりかえ	◎	19	木		
4	水			20	金	コンクールの発表	◎
5	木			21	土	アンケート用紙を書く	◎
6	金	ポスター掲示	◎	22	日		
7	土			23	月		
8	日			24	火	アンケート用紙配布	◎
9	月	金魚の名称いコンクールの計画	◎	25	水	水そうあらい	◎
10	火	コンクール用紙を作る	◎	26	木	アンケート用紙の集計	◎
11	水			27	金	集計結果とポスターづくり	◎
12	木	水そうあらい	◎	28	土	ポスター完成	↓
13	金	コンクール用紙配布		29	日		
14	土			30	月	ポスター掲示	◎
15	日			31			
16	月						
月 反省		アンケートなどの用紙がめり切れてなかなか集まらなかった。それは、よけいがかかっていたと思います。ポスターなどの完成の時も、おれなかった所もあつた。反対に、水そうあらいやえさ、花の水とりかえなどは、後からはなれてきて、よけい人もいなくなつた。					

そして、週ごとに一つ一つの活動計画を具体化し、「何を、何のために、どんな方法で、どのようにするか」がわかるようにした。

はじめは、毎週形式的な計画を立て、抽象的な表現で活動内容を記録していたので、創意ある具体的な内容の計画にするよう助言した。その結果一人一人の活動内容が明確になり、アイデアを生かした活動が行われるようになってきた。さらに係のまとまりも増し、係ごとに集まって、よく話し合いをするようになってきた。

③ 輪番制による全員主役の係活動

まとまりのある係活動を推進するために、係ごとに班長を置き、全員が班長を経験するように、一週間単位で交代する輪番制とした。